



わたしの「いつも」が、いのちを救う。  
毎日の行動や習慣に、ちょっとした工夫や発想を加えるだけで「いのちを救う」暮らし方があります。たとえば、外出先では非常口を確認、カーテンは閉めて寝る、寝転んで危険を探してみる、日用品は多めに買い置きする等、いますぐ始められる暮らしの工夫をお聞きます。

# いつもの暮らしの中でできる防災

～女性視点でくらし防災～



2018年

11 / 10 (土) **参加無料**

14:00～15:30

**会場**：守谷市民活動支援センター会議室  
守谷市御所ヶ丘5-25-1守谷市市民交流プラザ2階

**定員**：先着40人

**主催・申込・問合先**：守谷市民活動支援センター  
10:00～18:00 休館：月曜日



**TEL** 0297-46-3370

**FAX** 0297-46-3320

**HP** <http://moriya-cac.org/> (メール問合せはこちらから)



講師

いけがみ みきこ

池上 三喜子 氏

公益財団法人市民防災研究所 理事

平成5年～公益財団法人市民防災研究所理事  
平成24年～一般財団法人消防防災科学センター理事  
「女性視点の防災ブック」編集・検討委員会委員長  
東京2020オリンピック・パラリンピック環境アセスメント評価委員会委員